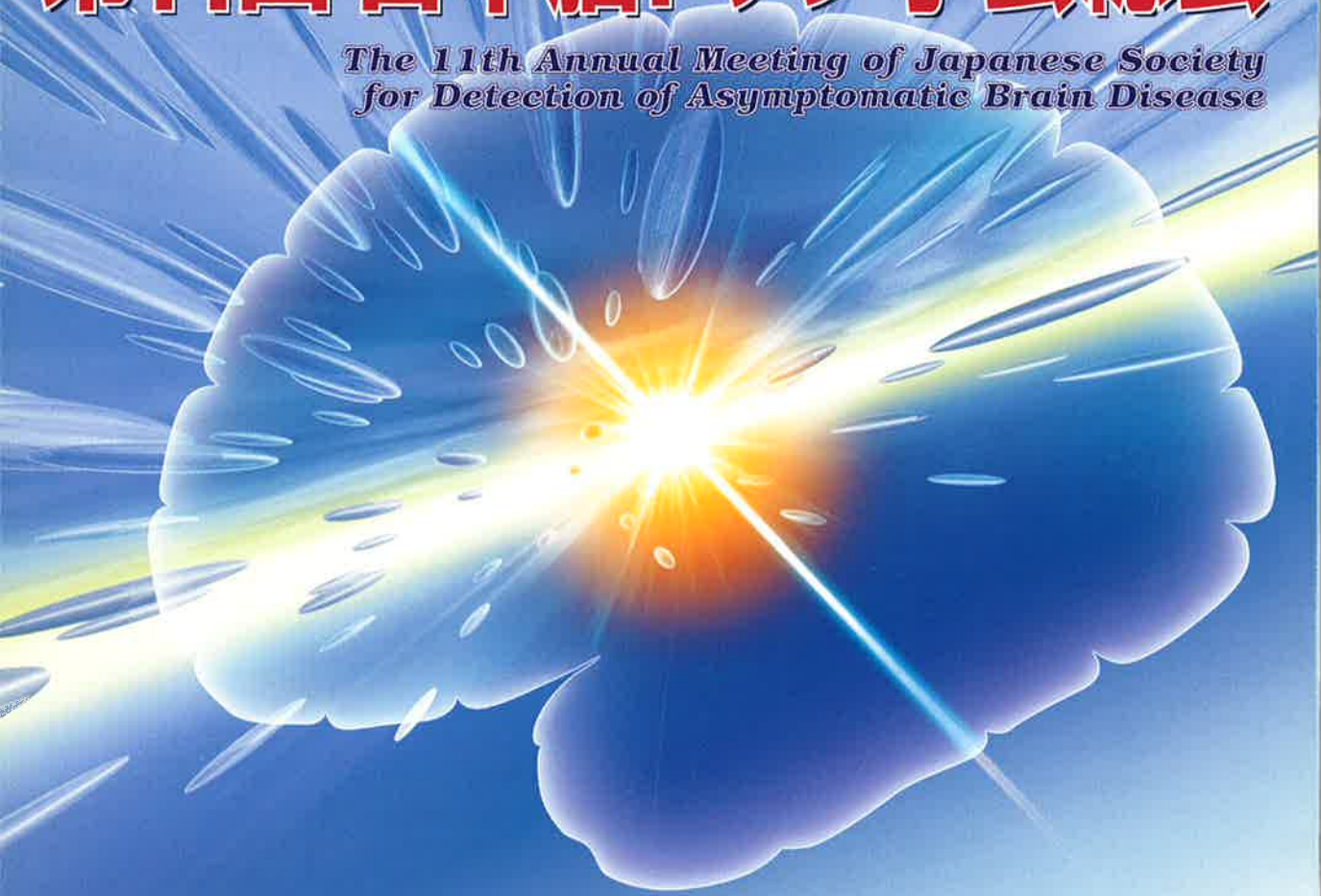


第11回 日本脳ドック学会総会

*The 11th Annual Meeting of Japanese Society
for Detection of Asymptomatic Brain Disease*



プログラム・抄録集

会長 東儀 英夫 (岩手医科大学 神経内科)

平成14年5月17日(金)～18日(土)

会場:盛岡グランドホテル(盛岡)

第11回日本脳ドック学会総会

*The 11th Annual Meeting of Japanese Society
for
Detection of Asymptomatic Brain Disease*

プログラム・抄録集

会長 東儀 英夫

2002年5月17日(金)・18日(土)

盛岡グランドホテル

〒020-8501 盛岡市愛宕下1-10

TEL 019-625-2111

名誉会員

大友 英一 太田 富雄 戸谷 重雄 松本 圭蔵 丸山 勝一

評議員

朝倉 哲彦	伊藤建次郎	伊藤 守	入野 忠芳	宇高不可思	内山真一郎
大本 堯史	岡田 慶一	岡田 靖	小川 彰	小川 敏英	奥寺 利男
片山 泰朗	河瀬 斌	神野 哲夫	桐野 高明	黒川 泰	児玉南海雄
厚東 篤生	小林 祥泰	斎藤 勇	斎藤 孝次	坂井 昇	櫻井恒太郎
佐渡島省三	澤田 徹	篠原 幸人	島 健	島田 和幸	島津 邦男
島本 和明	高木 繁治	高倉 公朋	武田利兵衛	館野 之男	田中 隆一
田邊 純嘉	赫 彰郎	土井 章弘	東儀 英夫	中川 俊男	中島 健二
永積 惇	貫井 英明	端 和夫	橋本 信夫	橋本洋一郎	畑中 光昭
早川 徹	福井 仁士	藤島 正敏	藤原 悟	松谷 雅生	松本 昌泰
峰松 一夫	宮坂 和男	村上 博彦	八尾 博史	山口 武典	吉峰 俊樹
吉本 高志	渡邊 一夫				

(50音順 敬称略)

総会事務局

学会期間中

盛岡グランドホテル

TEL 019-625-2111

学会期間外

岩手医科大学神経内科

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

TEL : 019-651-5111(内線3722)

FAX : 019-654-9860

e-mail: stakahas@iwate-med.ac.jp

総会準備委員

高橋 智

米澤 久司

長根百合子

近藤 竜史

水野 昌宣

阿部 隆志

槍澤 公明

工藤 雅子

小原 大治

佐々木一裕

紺野 衆

村田 隆彦

佐藤千久美

●本学会は日本脳神経財団の援助を受けました。

御挨拶

この度、第11回日本脳ドック学会総会を平成14年5月17日、18日の2日間、盛岡市で開催させていただくことになり、大変光栄に存じます。

日本脳ドック学会は1992年に創立されました。脳ドックの目的は、未発症の脳疾患を早期に発見し、必要な場合には介入を加えることにより、疾患の発症を防ぐことにあります。脳ドック学会の目標は、このような予防対策を講ずる上での問題点を検討し、もし疾患の予防に有効であるならば、その知識を市民に広めることにあります。そこで、脳ドック受診により、早期にhigh riskの症例を発見し、管理することが患者の予後を向上させるというデータを今後、確立してゆく必要があるという立場から、メイン・テーマを『脳ドックのミレニアム：脳疾患の予防医学』としました。

本年度の脳ドック学会のプログラムは、このような目標にそって、一般演題、シンポジウム、特別講演および招待講演を構成しました。第1に、脳ドックにおける診断、follow-up、医療経済上の問題点について、脳ドック・ガイドラインの各部門を担当しておられる先生方を中心に、シンポジウムを構成し、討論していただくこととしました。一般演題も出来るだけこのシンポジウムのタイトルに合わせた配列にしております。第2に、今後、脳ドックにおいても遺伝子診断が検討される必要があると思われます。このような観点から、遺伝子診断の実際と倫理的問題について、特別講演としてそれぞれのエキスパートである東京大学加齢医学教授 大内尉義先生と信州大学衛生学教授 福嶋義光先生をお招きしました。第3に、脳ドックが行政の理解を得、市民に根付くためには、どのような方向に進むべきかを考えることが重要です。脳ドックに関する外部評価、社会的評価を検証する目的で、特別講演として朝日新聞編集委員 田辺 功先生と厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室の正林督章先生からお話を伺うこととしました。招待講演には住友病院名誉院長 亀山正邦先生をお迎えしました。「脳をみる」と題して、長年にわたる臨床と剖検の御経験に基づく、含蓄のあるお話を伺うことが出来ると存じます。

いま、私達は高齢化社会、ポストゲノム時代のなかにあり、経済的効率を考慮した医療が求められております。このような時代背景のなかで、脳疾患の予防医学の戦略としての脳ドックを、evidence-based medicineの立場から、より一層確固たるものにする学会であることを祈っております。

盛岡の5月は、長い冬から目覚め、一斉に花が咲き誇り、生命が躍動する美しい季節です。多くの先生方に御参加いただき、活発な討論を通じて、今後の診療にお役に立ち、そして自然を楽しんでいただければ幸いに存じます。

平成14年5月

第11回日本脳ドック学会総会
会長 東儀英夫

学会日程表

第1日 5月17日 (金)

	A会場 (飛龍の間)	座長
8:55		
9:00	開会の辞	
10:20	シンポジウム1 脳ドックの診断上の問題点 脳高次機能検査項目 (1-S1-01~04)	澤田 徹
11:50		
12:00	ランチョンセミナー1	
12:55		
13:00	議事総会	
13:20	招待講演 亀山正邦 『脳をみる』	東儀英夫
14:10	特別講演1-1 大内尉義 『成人病の遺伝子診断』	吉峰俊樹
15:10	特別講演1-2 福嶋義光 『遺伝子診断の倫理』	赫 彰郎
16:10	シンポジウム5 予防医学としての 脳ドックの意義 脳ドックの医療経済効果 (1-S5-10~14)	早川 徹
17:25	特別講演2-1 田辺 功 『社会における脳ドックの意義』	田中隆一
18:25	特別講演2-2 正林督章 『健康づくり・疾病予防 対策について -健康日本21及び健康増進法-』	朝倉哲彦
19:25		

	B会場 (祥雲の間)	座長
9:00	シンポジウム3 脳ドックの診断上の問題点 超音波診断 (1-S3-15~20)	峰松一夫
10:20	シンポジウム4 予防医学としての脳ドックの意義 頸部・脳主幹動脈閉塞・ 狭窄への対応 (1-S4-21~26)	橋本信夫
11:50		
12:00	ランチョンセミナー2	
12:55		
13:00		

第1日 5月17日 (金)

C会場 (瑞雲の間)		座長	D会場 (飛天の間)		E会場 (鳳舞の間)
			9:00		
11:00	一般演題 未破裂動脈瘤 (1-A1-27~31)	大本堯史			
11:45					
16:10	一般演題 無症候性脳梗塞-1 (1-A2-32~35)	松本昌泰			
16:46	一般演題 無症候性脳梗塞-2 (1-A3-36~39)	宇高不可思			
17:22					
			19:30		19:30
					懇親会

第2日 5月18日 (土)

	A会場 (飛龍の間)	座長
9:00	シンポジウム6 脳ドックの診断上の問題点 MRA診断 (2-S6-40~45)	齋藤 勇
10:20	シンポジウム7 予防医学としての脳ドックの意義 未破裂動脈瘤への対応 (2-S7-46~55)	端 和夫
12:20 12:30	ランチョンセミナー3	
13:30		

	B会場 (祥雲の間)	座長
9:00	シンポジウム8 脳ドックの診断上の問題点 無症候性脳梗塞と 白質病変のMRI診断 (2-S8-56~60)	篠原幸人
10:30	シンポジウム9 予防医学としての脳ドックの意義 無症候性脳梗塞への対応 (2-S9-61~66)	内山真一郎
12:00		
13:30		

第2日 5月18日 (土)

	C会場 (瑞雲の間)	座長
11:00	<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">一般演題</div> その他 未破裂動脈瘤への対応 (2-A4-67~72)	小川敏英
11:54		
13:30		

	D会場 (飛天の間)
9:00	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">スライド 受付</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機 器 展 示</div> </div>
13:30	

ご案内（１）

●招待講演：A会場

5月17日（金）13：20～14：10 座長 東儀英夫（岩手医科大学）
『脳をみる』 亀山正邦（住友病院名誉院長）

●特別講演：A会場

特別講演 1. 『脳ドックと遺伝子診断』

5月17日（金）14：10～15：10 座長 吉峰俊樹（大阪大学）

特別講演 1-1. 『成人病の遺伝子診断』 大内尉義（東京大学加齢医学教授）

5月17日（金）15：10～16：10 座長 赫 彰郎（日本医科大学）

特別講演 1-2. 『遺伝子診断の倫理』 福嶋義光（信州大学衛生学教授）

特別講演 2. 『社会における脳ドックの意義』

5月17日（金）17：25～18：25 座長 田中隆一（新潟大学）

特別講演 2-1. 『社会における脳ドックの意義』 田辺 功（朝日新聞編集委員）

5月17日（金）18：25～19：25 座長 朝倉哲彦（鹿児島大学）

特別講演 2-2. 『健康づくり・疾病予防対策について

—健康日本21及び健康増進法—

正林督章（厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室）

ランチョンセミナー1：A会場（協賛：GE横河メディカルシステム株式会社）

5月17日（金）12：00～12：55 座長 小川 彰（岩手医大）

虚血性脳血管障害のDiffusion - Perfusion MRI

畑澤 順（大阪大学）

ランチョンセミナー2：B会場（協賛：株式会社第一ラジオアイソトープ研究所）

5月17日（金）12：00～12：55 座長 佐々木一裕（岩手医大）

1) 『脳機能画像解析 最近の話題』 高木昭浩（第一ラジオアイソトープ）

2) 『症候性および無症候性主幹動脈閉塞性病変における脳血流SPECTの有用性』

小笠原邦昭（岩手医大）

ランチョンセミナー3：A会場（協賛：第一製薬株式会社、GE横河メディカルシステム株式会社）

5月18日（土）12：30～13：30 座長 藤代健太郎（東邦大学）

『脳ドックにおける頸動脈エコーの意義とその評価-頸動脈エコーによる動脈硬化性病変
評価のガイドライン（案）をふまえて』

半田伸夫（前星ヶ丘厚生年金病院内科部長 半田医院）

会場 盛岡グランドホテル

A会場：飛龍の間（1階）

招待講演

特別講演

シンポジウム 1、2、5、6、7

議事総会

ランチョンセミナー 1、3

B会場：祥雲の間（地下1階）

シンポジウム 3、4、8、9

ランチョンセミナー 2

C会場：瑞雲の間（地下1階）

一般演題 A1、A2、A3、A4

D会場：飛天の間（1階）

スライド受付

機器展示

E会場：鳳舞の間（1階）

懇親会

ご案内 (2)

1. 参会者の皆様へ

- (1) 参会受付、新入会員受付は、5月17日、18日とも8時20分から、盛岡グランドホテルフロント向かいの総合受付にて行います。
- (2) プログラム・抄録集に綴じ込みの参会者カードに氏名・所属をご記入の上、参会費10,000円を受付にお渡しください。引き換えに名札（領収書兼用）をお渡しします。名札のない方の入場はお断り致します。
- (3) 外国人留学生は施設長の証明証があれば参会費免除と致します。
- (4) 別冊のプログラムは作成いたしません。お送りしたプログラム抄録集は学会期間中各自ご持参下さい。

2. シンポジウム、一般演題演者の皆様へ

- (1) スライド受付は当日午前8時30分より、飛天の間（1階）にて行います。早朝の発表の方を除き、発表の1時間前までに受付をお済ませ下さい。スライドはプラスチックマウントのみ受付けます。スライドを所定のスライドホルダーに収め、試写確認の上、係にお渡し下さい。発表終了後スライドは速やかに受領書と引換にお受け取り下さい。
- (2) プロジェクターは35mm版を各会場2台用意します。ビデオのご使用はできません。スライドの映写は演者をご指示下さい。
- (3) シンポジウムの発表時間は、指定シンポジスト9分（シンポジウム3のみ指定シンポジスト10分）、公募シンポジスト6分です。一般演題は口演時間6分、討論時間3分です。スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
- (4) 次演者は所定の席でお待ち下さい。
- (5) 円滑な運営のため、質疑、コメントされる方はあらかじめマイクの前で立ち、座長の指示に従ってください。

3. 理事会

理事会は5月16日（木）16時30分から、盛岡グランドホテル1階「鳳冠」の間で行います。理事の先生方はお集まり下さい。

4. 評議員会

評議員会は5月16日（木）17時30分から、盛岡グランドホテル1階「鳳冠」の間で行います。評議員の先生方はお集まり下さい。

5. 会員懇親会

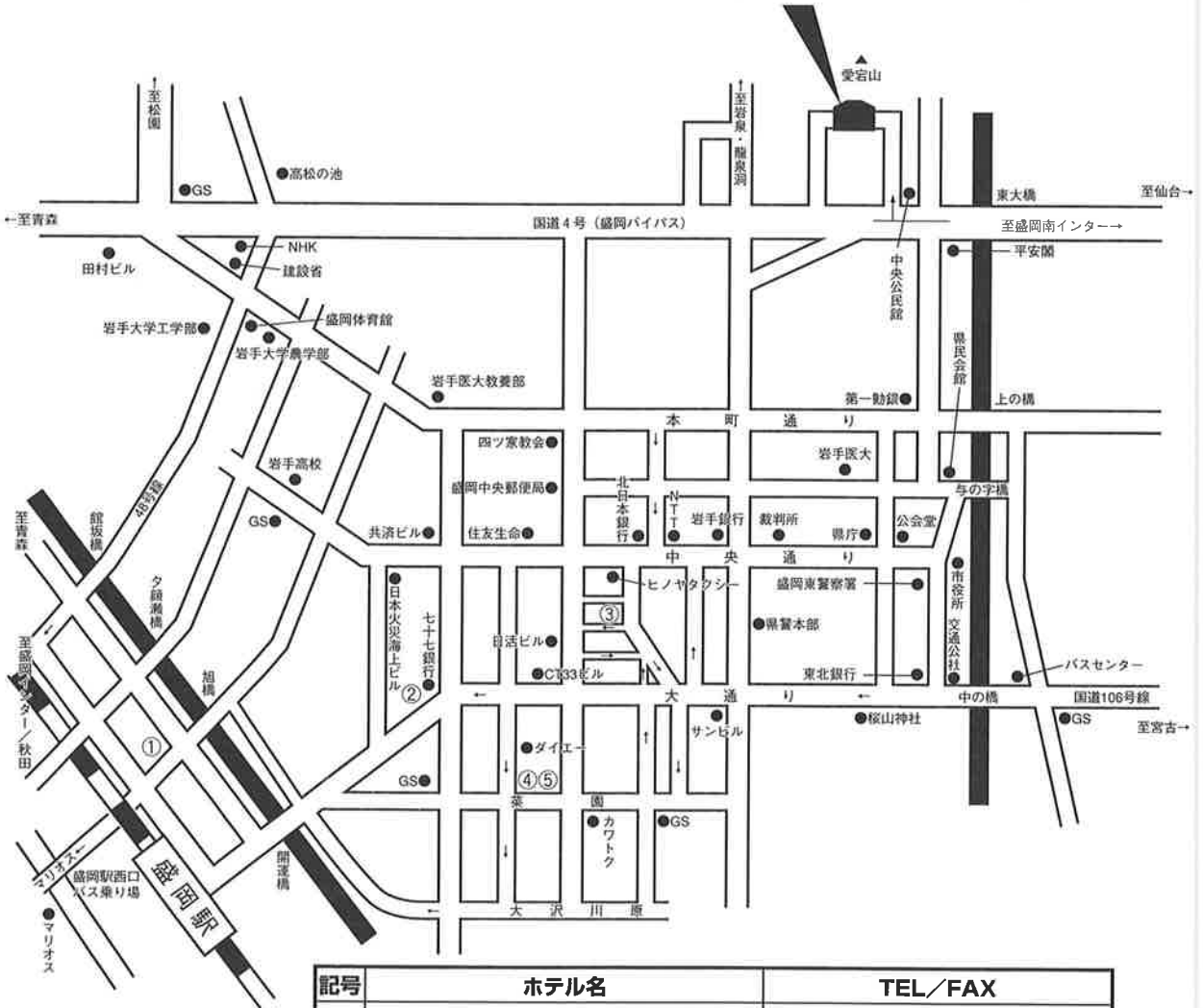
会員懇親会は5月17日（金）、19時30分から盛岡グランドホテル1階「鳳舞」の間（E会場）で行います。（参加無料）

6. 議事総会

5月17日（金）、13時00分から盛岡グランドホテル1階「飛龍」の間（A会場）で行います。

交通のご案内

会場 盛岡グランドホテル



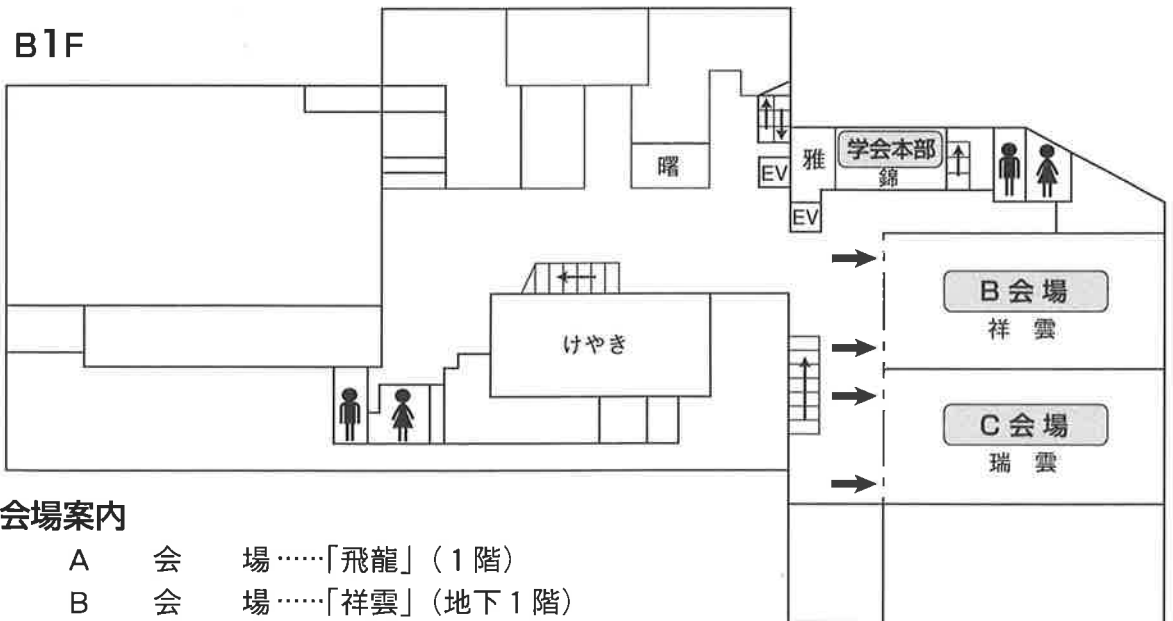
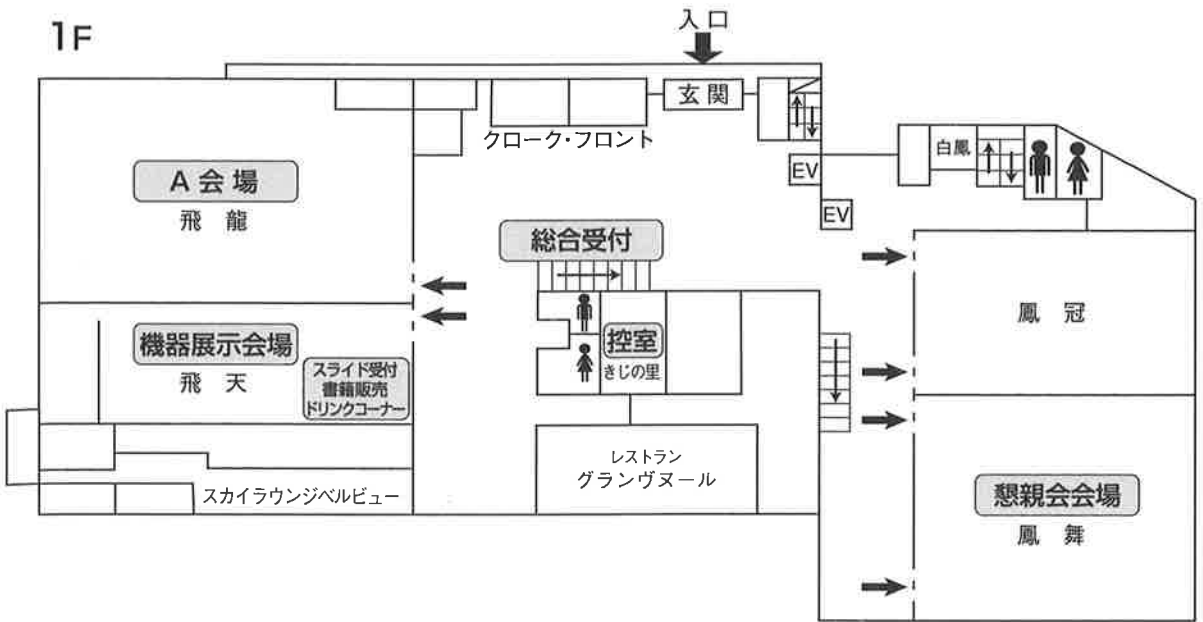
記号	ホテル名	TEL/FAX
①	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング	TEL 019(625)1211/FAX 019(625)1210
②	ホテル東日本	TEL 019(625)2131/FAX 019(626)9092
③	盛岡グランドホテルアネックス	TEL 019(625)5111/FAX 019(622)3527
④	ホテルカーリーナ	TEL 019(624)1111/FAX 019(624)1118
⑤	ホテルニューカーリーナ	TEL 019(625)2222/FAX 019(625)2244

盛岡グランドホテルまでの交通

- 盛岡駅から車で15分
- 盛岡バスセンターから車で10分
- 東北自動車道盛岡インターから車で20分
- 花巻空港から車で40分

なお、学会日程に合わせて、上記各ホテルから、送迎バスを運行いたします。

会場案内図



会場案内

- A 会 場……「飛龍」(1階)
- B 会 場……「祥雲」(地下1階)
- C 会 場……「瑞雲」(地下1階)
- 機器展示会場……「飛天」(1階)
- 懇親会会場……「鳳舞」(1階)
- スライド受付……「飛天」(1階)
- 総合受付…… (1階)

第1日 5月17日(金)
A会場

8:55 開会の辞

9:00~10:20 シンポジウム1 座長 澤田 徹 (ビーエフ研究所)
『脳ドックの診断上の問題点—脳高次機能検査項目』

- | | | |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------|------|
| 1-S1-01 (指定) 脳ドックに適した高次機能検査とは | 島根医科大学第三内科 | 小林祥泰 |
| 1-S1-02 (指定) 血管性認知障害の検出 | 兵庫県立高齢者脳機能研究センター | 森 悦朗 |
| 1-S1-03 (指定) MCI: 脳ドックにおける診断上の問題点 | 東京都老人総合研究所精神医学部門 | 本間 昭 |
| 1-S1-04 (公募) 未破裂脳動脈瘤手術の高次脳機能への影響
—未破裂脳動脈瘤の術前・術後の神経心理検査 | 秋田県立リハビリテーション・
精神医療センター | 下村辰雄 |

10:20~11:50 シンポジウム2
座長 小林祥泰 (島根医科大学)、入野忠芳 (入野医院)
『予防医学としての脳ドックの意義—脳高次機能異常への対応』

- | | | |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|
| 1-S2-05 (指定) 見逃されやすい高次脳機能障害 | 介護老人保健施設 エーデルワイス・
静岡医療科学専門学校 | 今村陽子 |
| 1-S2-06 (指定) 大脳白質病変と認知機能と脳血流 | 国立肥前療養所内科臨床研究部 | 八尾博史 |
| 1-S2-07 (公募) 健常成人における無症候性脳血管障害と
脳血流、認知機能の変化—12年間の前向き研究— | 島根医科大学第三内科 | 卜蔵浩和 |
| 1-S2-08 (指定) 痴呆の早期発見と対応 (apathy、
アルツハイマー病含めて) | 大田市立病院神経内科 | 岡田和悟 |
| 1-S2-09 (指定) 老年期うつ病とVascular Depression | 国立療養所賀茂病院精神科 | 藤川徳美 |

12:00~12:55 ランチョンセミナー1 座長 小川 彰 (岩手医大)
虚血性脳血管障害のDiffusion - Perfusion MRI
畑澤 順 (大阪大学)

13:00~13:20 議事総会

13:20~14:10 招待講演 座長 東儀英夫 (岩手医科大学)
『脳をみる』 亀山正邦 (住友病院名誉院長)

特別講演1. 『脳ドックと遺伝子診断』

14:10~15:10 特別講演1-1. 座長 吉峰俊樹 (大阪大学)

『成人病の遺伝子診断』 大内尉義 (東京大学加齢医学教授)

15:10~16:10 特別講演1-2. 座長 赫 彰郎 (日本医科大学)

『遺伝子診断の倫理』 福嶋義光 (信州大学衛生学教授)

16:10~17:25 シンポジウム5 座長 早川 徹 (関西労災病院)
『予防医学としての脳ドックの意義—脳ドックの医療経済効果』

- | | | |
|--------------------------------------------------------|------------------------|------|
| 1-S5-10 (指定) 総論 [予防医学と脳ドック] /
無症候性脳梗塞に対する脳ドックの費用対効果 | 高根医科大学第三内科 | 小林祥泰 |
| 1-S5-11 (公募) 町立病院の脳ドックと地域の医療経済効果 | 鳴子町保健・医療・福祉総合センター | 成川弘治 |
| 1-S5-12 (公募) 脳ドック受診料の変遷
—全国アンケートから— | 医療法人社団美心会
黒沢病院脳神経外科 | 岡田慶一 |
| 1-S5-13 (指定) 脳ドックの経済的意義 | 医療法人新さっぽろ脳神経外科病院 | 中川俊男 |
| 1-S5-14 (指定) 予防医療経済効果のジレンマ
—受診者ならびに国家医療経済の視点より— | 前読売新聞大阪本社論説委員 | 三木健二 |

特別講演2. 『社会における脳ドックの意義』

17:25~18:25 特別講演2-1. 座長 田中隆一 (新潟大学)

『社会における脳ドックの意義』 田辺 功 (朝日新聞編集委員)

18:25~19:25 特別講演2-2. 座長 朝倉哲彦 (鹿児島大学)

『健康づくり・疾病予防対策について—健康日本21及び健康増進法—』
正林督章 (厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室)

B会場

9:00~10:30 シンポジウム3 座長 峰松一夫 (国立循環器病センター)
『脳ドックの診断上の問題点—超音波診断』

- | | | | |
|---------|------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|
| 1-S3-15 | (指定) 大規模疫学調査から見たわが国都市部一般住民における頸動脈硬化所見の現状: 吹田研究 (The Suita Study) | 国立循環器病センター集団検診部 | 万波俊文 |
| 1-S3-16 | (指定) 脳ドックにおける脳神経超音波診断 | 大阪大学大学院医学系研究科
病態情報内科学 | 北川一夫 |
| 1-S3-17 | (指定) 大動脈硬化を指標とした臓器動脈硬化と超音波頸動脈硬化所見との対比 | 東邦大学医学部臨床生理機能学 | 藤代健太郎 |
| 1-S3-18 | (公募) 脳ドックにおける頸動脈超音波診断の意義と問題点 | 相模原中央病院脳神経外科 | 山下晃平 |
| 1-S3-19 | (公募) 脳ドックでの超音波血流測定による頭蓋内外動脈硬化の診断—とくにPI値の意義について— | 東松山市立市民病院脳神経外科 | 竹内東太郎 |
| 1-S3-20 | (公募) 脳ドックにおける経頭蓋Color Duplex Sonography (TCDS)の意義と問題点 | 京都武田病院脳神経科学診療科 | 塩貝敏之 |

10:30~11:50 シンポジウム4 座長 橋本信夫 (京都大学)
『予防医学としての脳ドックの意義—頸部・脳主幹動脈閉塞・狭窄への対応』

- | | | | |
|---------|---------------------------------|------------------------------|------|
| 1-S4-21 | (指定) 脳梗塞発症のリスクと内科的治療 | 東海大学医学部内科学系神経内科 | 高木繁治 |
| 1-S4-22 | (指定) 脳血管内科からみた無症候性頸動脈高度狭窄病変への対応 | 国立病院九州医療センター
脳血管センター脳血管内科 | 岡田 靖 |
| 1-S4-23 | (指定) 無症候性頸動脈狭窄病変への対応 | 京都大学医学部脳神経外科 | 宮本 享 |
| 1-S4-24 | (指定) 頸部脳主幹動脈病変への外科的対応 | 岩手医科大学脳神経外科 | 小川 彰 |
| 1-S4-25 | (公募) 無症候性脳主幹動脈狭窄 | 財) 脳神経疾患研究所
附属総合南東北病院 | 小泉仁一 |
| 1-S4-26 | (公募) 無症候性内頸動脈欠損症の管理 | 宇部興産中央病院脳神経外科 | 黒川 泰 |

12:00~12:55 ランチョンセミナー2 座長 佐々木一裕 (岩手医大)
1) 『脳機能画像解析 最近の話題』 高木昭浩 (第一ラジオアイソトープ)
2) 『症候性および無症候性主幹動脈閉塞性病変における脳血流SPECTの有用性』
小笠原邦昭 (岩手医大)

C会場

11:00~11:45 一般演題『未破裂動脈瘤』 座長 大本堯史 (岡山大学)

- | | | | |
|---------|-------------------------------|----------------------|-------|
| 1-A1-27 | 未破裂前交通動脈瘤の分類と難易度 | 函館赤十字病院脳神経外科 | 松崎隆幸 |
| 1-A1-28 | 外来診療でみつけた無症候性未破裂脳動脈瘤の治療の選択の現状 | 日本医科大学第二内科 | 桂研一郎 |
| 1-A1-29 | 脳ドックにより見つかった未破裂脳動脈瘤に対する対応 | 岡山旭東病院脳神経外科 | 土井章弘 |
| 1-A1-30 | 未破裂脳動脈瘤の過去10年間の治療成績 | 一之瀬脳神経外科病院 | 一之瀬良樹 |
| 1-A1-31 | 脳動脈瘤術後のfollow upの必要性について | 福島県立医科大学医学部
脳神経外科 | 生沼雅博 |

16:10~16:46 一般演題『無症候性脳梗塞—1』 座長 松本昌泰 (広島大学)

- | | | | |
|---------|----------------------------------------------|------------------|-------|
| 1-A2-32 | 無症候性脳梗塞における危険因子の検討 | 大分県地域成人病検診センター | 安部隆子 |
| 1-A2-33 | 脳ドック受診例における無症候性脳梗塞の危険因子 | 岩手医科大学神経内科 | 佐々木一裕 |
| 1-A2-34 | 無症候性脳梗塞・頸部動脈硬化とリスクファクターの現状分析—軽症リスク群への対応— | 日本赤十字社熊本健康管理センター | 福島正昭 |
| 1-A2-35 | 未治療本態性高血圧患者における無症候性大脳白質病変と血圧日内変動との関連性についての検討 | 大分赤十字病院脳神経外科 | 下村 剛 |

16:46~17:22 一般演題『無症候性脳梗塞—2』 座長 宇高不可思 (住友病院)

- | | | | |
|---------|----------------------------------------------|------------------|------|
| 1-A3-36 | 未治療本態性高血圧患者における無症候性の脳白質病変と左室形態機能との関連性についての検討 | 大分赤十字病院循環器科 | 阿南 太 |
| 1-A3-37 | 虚血性心疾患の既往を有する症例での頭頸部MRI/A所見の検討—特に、頸動脈病変について— | 国療豊橋東病院脳神経外科 | 西村康明 |
| 1-A3-38 | 脳ドックで発見された無症候性脳梗塞への対応—長期追跡調査結果からの検討— | 医療法人新さっぽろ脳神経外科病院 | 藤重正人 |
| 1-A3-39 | 脳ドックにおける長期フォローアップ患者の検討 | 広島市民病院脳神経外科 | 西野繁樹 |

第2日 5月18日(土) A会場

9:00~10:20 シンポジウム6 座長 齋藤 勇 (杏林大学)
『脳ドックの診断上の問題点—MRA診断』

2-S6-40 (指定) 脳ドックにおけるMRA診断の問題点	杏林大学医学部放射線科	土屋一洋
2-S6-41 (指定) 頸部脳動脈病変の診断と問題点	釧路脳神経外科病院	齋藤孝次
2-S6-42 (指定) 無症候性頭蓋内狭窄性病変における脳ドックの問題点	りんくう総合医療センター市立 泉佐野病院脳神経外科	伊藤 守
2-S6-43 (公募) 完全デジタルシステムによる3次元回転MRA画像に基づいた脳動脈瘤の診断	関東中央病院脳神経外科	吉本智信
2-S6-44 (公募) 脳血管撮影と頭部MRAでの脳主幹動脈窓形成の診断についての比較検討	湘南鎌倉総合病院脳卒中診療科	今井啓輔
2-S6-45 (公募) 脳ドックでの未破裂脳動脈瘤診断における3D-CT angiography (3D-CTA) の有用性	岩手医科大学脳神経外科	鈴木 豪

10:20~12:20 シンポジウム7 座長 端 和夫 (日本脳ドック学会理事長)
『予防医学としての脳ドックの意義—未破裂動脈瘤への対応』

2-S7-46 (指定) 未破裂動脈瘤の現状と問題	医療法人新さっぽろ脳神経外科病院	中川俊男
2-S7-47 (公募) 無症候性未破裂脳動脈瘤への対応—脳ドック受診者と一般受診者との比較から—	広南病院脳神経外科	長嶺義秀
2-S7-48 (指定) 健診を中心とした脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の頻度	慶応大学脳神経外科	菅 貞郎
2-S7-49 (公募) 未破裂脳動脈瘤への対応: 治療適応患者の選択基準について	広島市民病院脳神経外科	西野繁樹
2-S7-50 (公募) 当科における無症候性未破裂脳動脈瘤の治療成績と治療方針	山形大学医学部脳神経外科	近藤 礼
2-S7-51 (公募) 未破裂脳動脈瘤の治療適応は変わったか	杏林大学医学部脳神経外科	塩川芳昭
2-S7-52 (公募) 無症候性未破裂脳動脈瘤の外科的治療—非手術例との比較—	中国労災病院脳神経外科	三原千恵
2-S7-53 (指定) 未破裂脳動脈瘤の外科的治療成績と転帰悪化因子の検討	大阪大学医学部脳神経外科	吉峰俊樹
2-S7-54 (指定) 未破裂脳動脈瘤への対応—直達手術の立場から—	福島県立医科大学脳神経外科	児玉南海雄
2-S7-55 (公募) 未破裂脳動脈瘤(uAN)患者の精神的危機	青森県立中央病院脳神経外科	梅澤邦彦

12:30~13:30 ランチョンセミナー3 座長 藤代健太郎 (東邦大学)
『脳ドックにおける頸動脈エコーの意義とその評価—頸動脈エコーによる動脈硬化性病変評価のガイドライン(案)をふまえて』
半田伸夫 (前星ヶ丘厚生年金病院内科部長、半田医院)

B会場

9:00~10:30 シンポジウム8

座長 篠原幸人 (東海大学)

『脳ドックの診断上の問題点—無症候性脳梗塞と白質病変のMRI診断』

2-S8-56 (指定) 画像診断上の問題点	秋田県立脳血管研究センター 放射線医学研究部	奥寺利男
2-S8-57 (指定) 無症候性大脳白質病変の画像と病理	慶應義塾看護短期大学・ 慶應義塾大学医学部神経内科	厚東篤生
2-S8-58 (公募) 無症候性脳梗塞と白質病変のMRI診断 —無症候性脳梗塞、白質病変とその危険因子—	西宮市立中央病院脳神経外科	正名好之
2-S8-59 (指定) 無症候性脳梗塞と白質病変における 脳循環代謝面における問題点	山中湖クリニック	高橋若生
2-S8-60 (指定) 臨床面における問題点	日本医科大学第二内科	永積 惇

10:30~11:50 シンポジウム9

座長 内山真一郎 (東京女子医科大学)

『予防医学としての脳ドックの意義—無症候性脳梗塞への対応』

2-S9-61 (指定) 成因からみた無症候性脳梗塞	東京医科大学老年病科	岩本俊彦
2-S9-62 (指定) 無症候性脳梗塞の長期経過と予後 —無症候性ラクナ梗塞から脳血管性痴呆まで—	住友病院神経内科	宇高不可思
2-S9-63 (指定) 症候性脳血管障害発症における 無症候性脳梗塞の意義	東海大学医学部内科学系神経内科	高木繁治
2-S9-64 (指定) 脳ドック受診者における脳卒中発症から みた無症候性脳梗塞への対応	秋田県立脳血管研究センター 神経内科学研究部	佐藤雄一
2-S9-65 (公募) 血小板凝集能亢進是正による白質病変 増悪防止—是正、非是正2群における比較検討—	石川病院 先進画像・医療研究所	藤田稠清
2-S9-66 (公募) LOGISTIC回帰による無症候性脳梗塞 の発現因子について	日本医科大学第二内科	永積 惇

C会場

11:00~11:54 一般演題『その他』

座長 小川敏英 (鳥取大学)

2-A4-67	脳健康診断から得られた臨床情報の自己組織化マップによる解析 (第一報)	東北大学加齢医学研究所 機能画像医学研究分野	木之村重男
2-A4-68	脳健診における内臓脂肪量測定の意義	財団法人関西労働保健協会 附属千里LC健診センター	中川善雄
2-A4-69	無～線状剃髪手術	佐久総合病院脳神経外科	河野和幸
2-A4-70	脳ドック単独と脳ドックを追加した一般ドック (スペシャルドック) の違いについて	聖隷浜松病院脳神経外科	天野慎士
2-A4-71	T2*にて見られるmicro bleedとその危険因子： 脳梗塞症例における検討	日本医科大学第二内科	五十嵐博中
2-A4-72	健常成人と早期Binswanger型血管性痴呆における 脳循環自動調節能と自律神経機能の検討	島根医科大学第三内科	飯島献一